

# 生物多様性なら戦略

～豊かな自然環境を未来の子どもたちに～

奈良県

# 生物多様性なら戦略 ～豊かな自然を未来のこどもたちに～

## 目 次

### 第Ⅰ章 戦略策定にあたって

1. 生物多様性とは	1
(1) 生態系の多様性	1
(2) 種の多様性	2
(3) 遺伝子の多様性	2
2. 生物多様性の重要性	3
(1) 供給サービス	4
(2) 調整サービス	5
(3) 文化的サービス	5
(4) 基盤サービス	5
3. 生物多様性の危機	6
(1) 第1の危機（開発など人間活動による危機）	7
(2) 第2の危機（自然に対する働きかけの縮小による危機）	7
(3) 第3の危機（人間に持ち込まれたものによる危機）	8
(4) 第4の危機（地球環境の変化による危機）	8
4. 戦略策定の背景	9
(1) 生物多様性保全に関する世界と日本の動き	9
(2) 生物多様性保全に関する県の動き	9
(3) 「生物多様性なら戦略」の位置づけ	10

### 第Ⅱ章 奈良県の現況

1. 奈良県の地形・地質および気候	11
(1) 地形・地質	11
(2) 気候	13
2. 奈良県の自然の魅力と課題	14
(1) 本県の自然の魅力	14
(2) 課題	30

### 第Ⅲ章 基本方針と目標

1. 基本方針（私たちの進むべき方向）	48
(1) 科学的知見の集積による生物多様性の保全・再生	48
(2) 長期的視野に基づく生物多様性の重要性に関する普及啓発	48
(3) 人と自然のつながりの輪の形成	49
(4) さまざまな人々との連携・協働	49

2. 目標	49
(1) 生物多様性の主流化	50
(2) 生物多様性の保全と再生	50
(3) 生態系サービスの持続可能な利用	50
3. 期間	50
4. 対象区域	50

第IV章 行動計画

1. 第1の目標「生物多様性の主流化」	51
(1) 生物多様性を調べ、学ぶ取組	51
(2) 生物多様性を楽しむ取組	59
(3) 生物多様性を活かす取組	61
2. 第2の目標「生物多様性の保全と再生」	63
(1) 重要地域の保全	63
(2) 身近な自然環境の保全	67
(3) 野生動植物の保護と管理	69
(4) 生物多様性保全・再生の担い手育成	72
3. 第3の目標「生態系サービスの持続可能な利用」	73
(1) 農林水産業における取組	73
(2) 公共事業・地域開発・企業活動における生物多様性への配慮	76

第V章 推進体制

1. 各主体に求められる役割	78
(1) 県の役割	78
(2) 市町村に求められる役割	79
(3) 県民に求められる役割	79
(4) 企業に求められる役割	81
(5) 民間団体に求められる役割	82
(6) 教育・研究機関に求められる役割	82
2. 各主体との連携・協働	83
(1) 生物多様性なら戦略を推進するための連携	83
(2) 各主体との具体的な連携	83
3. 行動計画の点検評価など	84
(1) 行動計画の点検と評価	84
(2) 主要評価項目の設定	84

資料編

資料1. 生物多様性なら戦略 体系図	88
資料2. 生物多様性なら戦略(平成25年3月)の目標達成状況	89
資料3. 生物多様性なら戦略に関連する数値目標	91

資料 4. 生物多様性なら戦略 委員名簿	92
資料 5. 生物多様性なら戦略案 検討の経過	93
資料 6. 執筆協力者	96
資料 7. 写真出典一覧	97
資料 8. 生物多様性を取り巻く用語解説	100
資料 9. 昆明・モンリオール生物多様性枠組の概要	101
資料 10. 生物多様性国家戦略 2023-2030 の概要	102
資料 11. 生物多様性を学べる施設一覧	103
資料 12. 奈良県の天然記念物（生き物関係）	106